

## 議会報告会（H28. 11 開催分）に関するアンケート調査結果

### ■調査概要

#### 【調査目的】

開かれた議会に向けた取り組みの一つとして、市民の率直な意見及び要望を把握し、今後の取り組みの参考にしていくことを目的に実施。

#### 【調査対象】

議会報告会（H28. 11 開催分）の参加者

- ・ 19 会場の延べ参加者：323 人（受付簿記載者）
- ・ アンケート協力者：261 人（協力者率：80.1%）

日	地区	場所	担当班	参加人数（前年）
11月2日	城北	玉水会館	1班	23人（35人）
	西紀北	しゃくなげ会館	2班	23人（19人）
11月4日	八上	高城会館	2班	9人（11人）
	村雲	ハートピアセンター	1班	12人（23人）
11月9日	篠山	城下まち会館	1班	10人（16人）
	大芋	旧大芋小学校多目的ホール	2班	22人（20人）
	西紀南	みなみ・ほっと・さろん	3班	12人（22人）
11月10日	日置	城東公民館	3班	33人（25人）
11月11日	大山	大山小学校ふれあい館	3班	16人（19人）
	今田	今田まちづくりセンター	1班	19人（17人）
11月14日	岡野	岡野文化会館（岡野コミュニティセンター）	2班	20人（15人）
11月15日	畑	みたけ会館	3班	19人（19人）
11月16日	雲部	雲部公民館	2班	10人（26人）
11月17日	西紀中	げんき・げんきハウス	1班	15人（18人）
11月18日	味間	四季の森生涯学習センター東館	1班	15人（13人）
11月19日	後川	後川文化センター	1班	16人（19人）
	古市	古市コミュニティ消防センター	3班	13人（24人）
11月22日	福住	福住公民館	3班	24人（27人）
11月25日	城南	コミュニティセンター城南会館	2班	12人（25人）
合計				323人（393人）

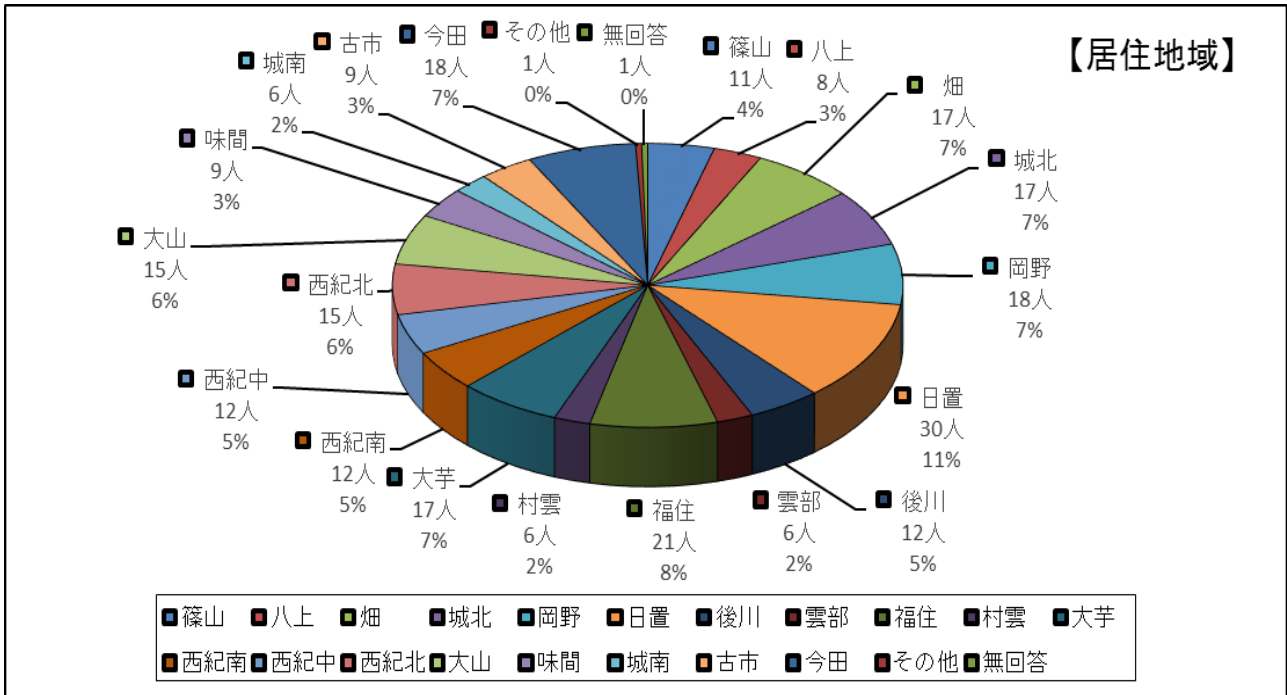
**【調査項目】**

1. 参加者の属性…………… 3～4 頁
2. 取り組み（議会報告会）の評価…………… 4～5 頁
3. 議会報告会情報の入手状況…………… 6 頁
4. 議会の求めること…………… 6 頁
5. 自由記述…………… 7～9 頁

# 1. 参加聴者の属性

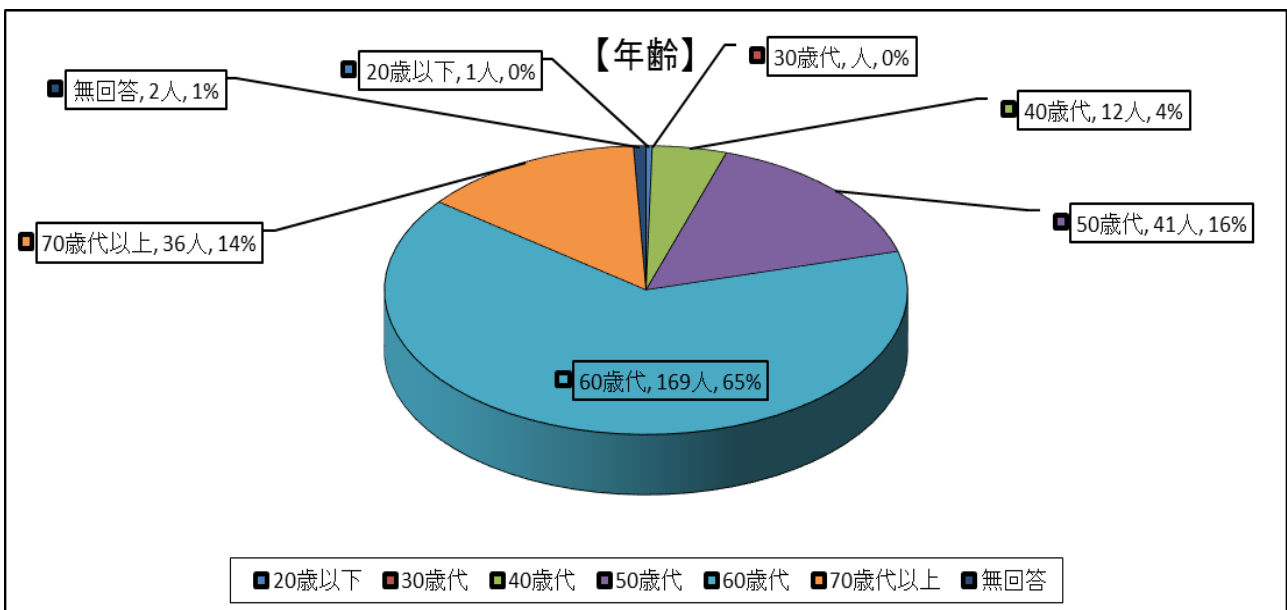
## 【居住地】

・基本的には開催地区の居住者が参加されている。



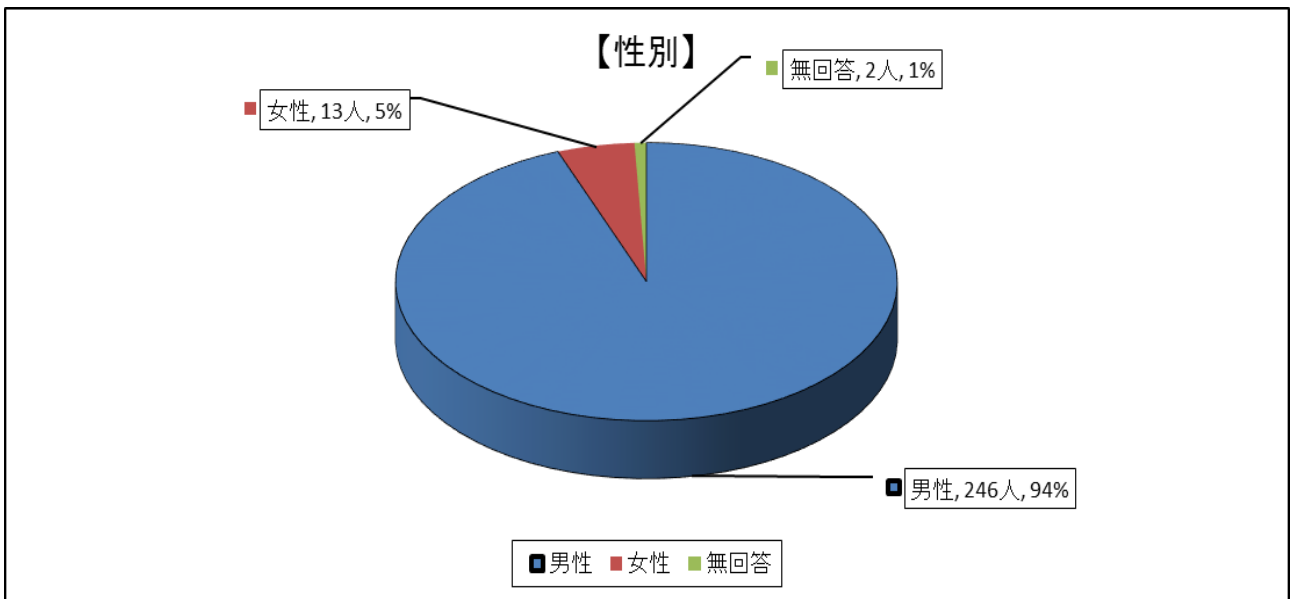
## 【年齢】

・60歳代が一番多く、50～70歳代以上が全体の95%（前回89%）を占めており、40代は12人（前回9人）、30歳代は0人（前回6人）、20歳以下は1人（前回0人）である。（※20歳以下は0.4%）



## 【性別】

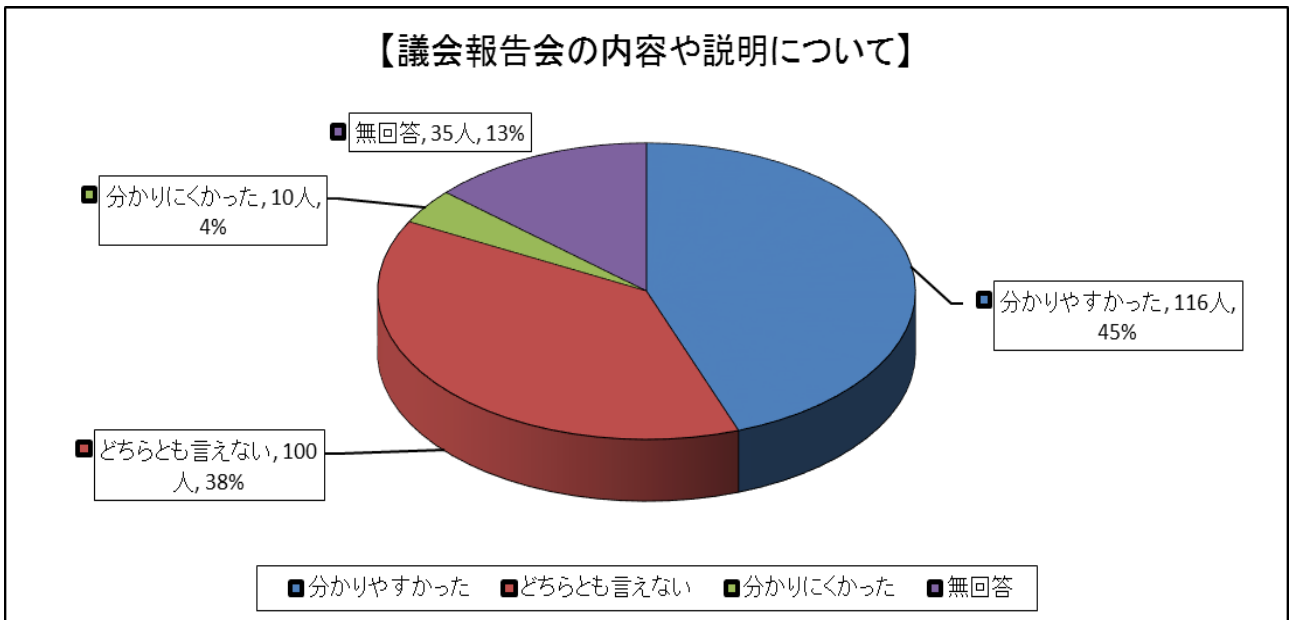
- ・「男性」が94%（前回92%）を占めている。



## 2. 取り組みの評価

### 【議会報告会の内容や説明に対する評価】

- ・「分かりやすかった」は45%（前回47%）に留まっている。それに対し「どちらとも言えない」と「分かりにくかった」をあわせて42%であった。



(理由 要約・抜粋 )

#### <分かりやすかった>

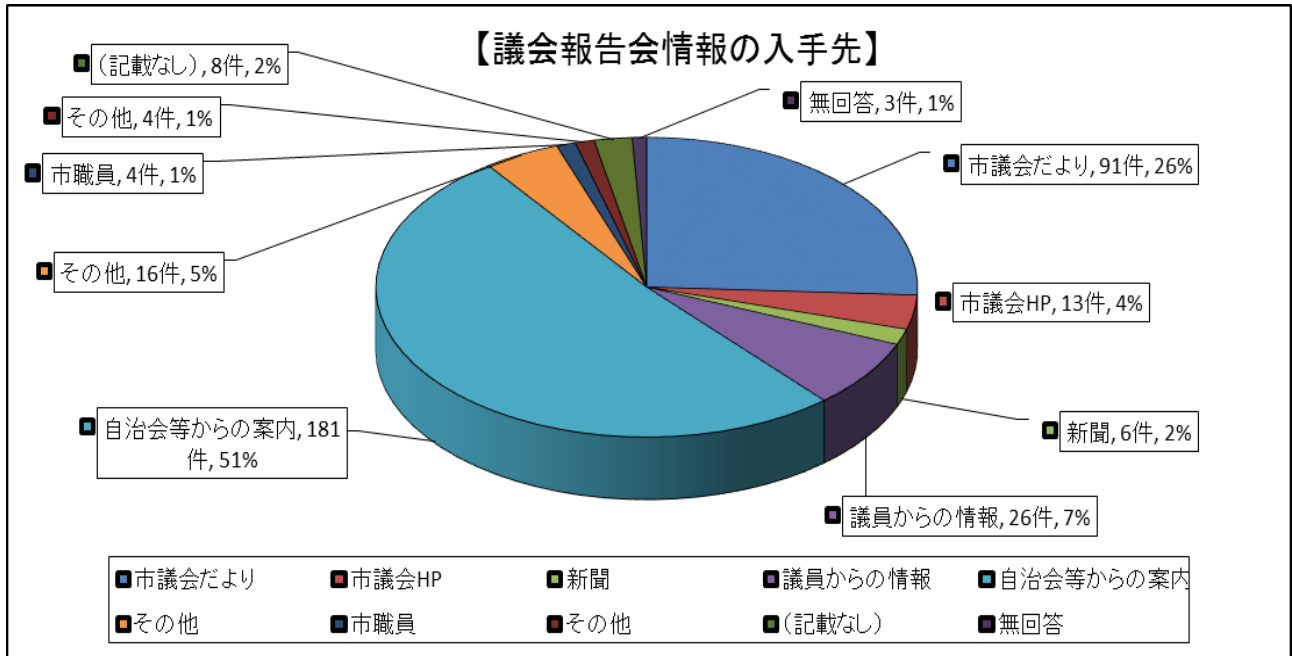
- ・ポイントを絞って説明されていた。
- ・説明自体はわかり易かったが、もう少し具体的数値が欲しい。
- ・議会の内容がよく理解できた。
- ・話し方がゆっくりで聞き取りやすかった。
- ・説明が丁寧であった。
- ・パワーポイントの説明がよかった。
- ・市議会を身近に感じることができ、大変良かった。
- ・具体的なものがあるってわかりやすい。
- ・資料の内容がわかりやすかった。

#### <どちらとも言えない・分かりにくかった>

- ・審議内容の質疑応答も資料としていただければ嬉しい。
- ・地域に関係する具体的内容に乏しいと感じた。
- ・内容がわかりにくい。
- ・少し早口であった。
- ・今までの過程がわかっていないので少し理解できなかった。
- ・報告内容は簡潔でよいが、もう少し具体的に書かれていた方が全容がわかり易いと感じた。
- ・もう少し具体的事例を説明してほしい。
- ・時間が短いように思われる。
- ・もう少し詳細に説明が欲しい。
- ・議決案件を流して説明するだけではよくわからなかった。
- ・各項目の説明がなかった。記載されている文の朗読に過ぎなかった。
- ・結果どうしたかなどの報告が欲しい。
- ・時間の問題があるので、やむを得ないが、表題のみで中身がわかりにくい。
- ・専門用語のままで少しわかりにくかった。

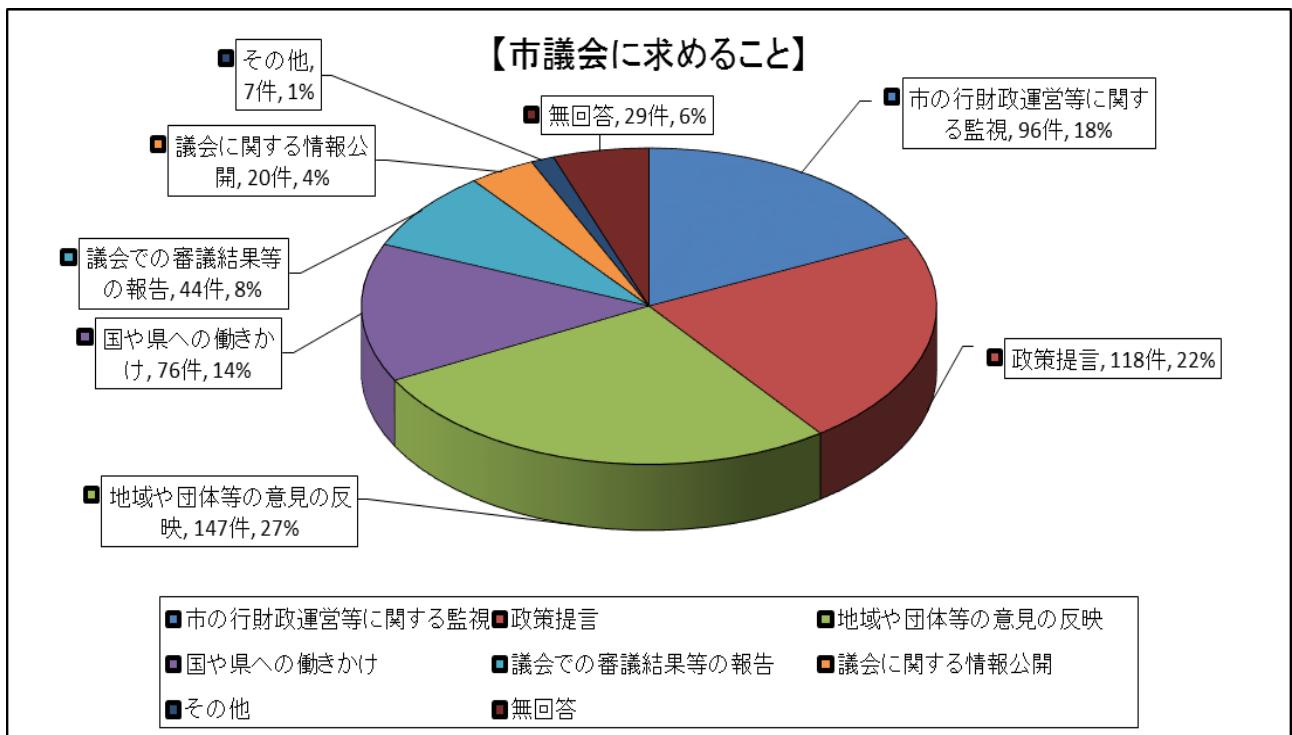
### 3. 議会報告会情報の入手状況【議会報告会情報の入手先（複数回答）】

- ・報告会の開催情報の入手については、「自治会等からの案内」が大部分を占めており、続いて「市議会だより」「議員からの情報」の順である。



### 4. 議会に求めること【議会に求めること（複数回答）】

- ・議会に求めることについては、「地域や団体等の意見の反映」が27%と最も高い割合となった。次いで「政策提言」が22%、「市の行財政運営等に関する監視」が18%となっている。



## 5. 自由記述

### 【ご意見・ご感想（要約・抜粋）】

#### （議会報告会について）

- ・多くの地域の方が参加できる方法を研究してほしい。こんなにも少ないのはなぜか。
- ・年に3回程度開催し、住民の声を多く聞くべきと思う。
- ・今後も続けてください。
- ・身近な議会として報告会は有効だと考えます。継続してほしい。
- ・報告会には初めて参加しました。議会の仕事内容がよく理解できました。
- ・予定時間内はきっちりとやっていただきたい。
- ・だらだらとした議会報告は不要。重点や課題について、要点を絞って簡潔な報告とされたい。条例を可決した、活動をした、研修を受けた、調査研究をしたなど、事象の報告ばかりで何が問題か、どこに問題があったか等、具体的な話は何もなかった。そういう話が聞きたい。
- ・Q&Aは有意義でした。
- ・ふるさと一番会議と関連があり、この報告会の継続性について他地区の考え方も含め検討してください。
- ・出席議員の中に発言のない人がいた。全員発言する方がよい。

#### （議会に対する要望等）

- ・政務活動費を後払いにして、成果のある件のみ支給する。
- ・議員の期末手当10%削減を延長されたことは素晴らしいと感じますが、若い専門の議員の活躍が期待されます。一律カットではなく、他の所得とのトータルで考えてほしい。逆に報酬もアップされたい。若手専門議員に期待して止みません。
- ・市民・議員一体となり、よいまちづくりを頑張りましょう。
- ・政務活動費の領収書チェックは誰がやっているのか。
- ・篠山市の10年先のビジョンが何も感じられない。議員が高齢化して硬直した考えが大事のような感じがする。
- ・議会、委員会を夜にやるようにして、若い議員も討議できる体制づくりが必要であり、若い議員が出てくる市にならなければいけない。
- ・報告の仕方や答弁の仕方が地域の問題点を明確化して、何かしようとする意志が感じられない。市としてどうしようとしているのか、どうしたいのか。住民が判断できるだけの情報発信がとにかく不足している。非常に残念な答弁ばかりであった。
- ・政務活動費は使った分を領収書でもって請求する方向に変えるべき。支給ありき、残れば返す方法は無駄なやり方である。有効な活用の費用の使い方をすべきである。すぐ改善するべきと考える。
- ・今後とも議会改革をやってほしい。開かれた議会にしてほしい。各地区とのコミュニケーションを取っていただき、市が見えてないところも見えてほしいと思います。

- ・議員の頑張りは理解できる。
- ・大変かと思いますが、市のため、市民のための活躍をお願いします。
- ・市民の意見を聞く機会は本当に大切です。年配の方、自治会長の方等は色々訴える機会がありますが、もっと子育て世代や20代の若い世代の今後、次代の篠山を背負っていく人たちの意見を聞ける機会があれば良い。自分たちの思いも市政に届くんだという住民の意識改革も必要かもしれません。
- ・建設的で実現可能な提案をお願いします。
- ・費用対効果を考えてください。アイデアに力を注いでください。
- ・政策提言を期待します。
- ・若い世代が政治参加しやすくなるよう広報や報告会などますます工夫してもらえると嬉しく思いました。
- ・意見箱等を設置してはどうか。
- ・人権に関する勉強会をしっかりと持ってほしい。
- ・地域の実情を観察いただいていい方向に向くよう願っております。
- ・意見や要望を一般質問や委員会審査に活かしていただきたい。
- ・監視役ではなくて、提言などの能動的な活動に重点を置いて活動すべき。報告会ではなくて、課題や問題を出席者に投げかけて、意見を聞く、それを上記の提言に繋いでいくというような取り組みが大切だと思う。
- ・常に篠山市の未来を描き、市民に提案できる議会であってほしい。
- ・行政に言い放しではいけない。チェック機能、特に決算の充実を。
- ・各議員の活動が住民との関係を密にできるように努力されたい。
- ・政務活動費については、一部の議会の事案から全国的に不正が出ているが、チェックだけは確実にお願いしたい。
- ・議員報酬50%カットだった分が、いとも簡単に元に戻ったことに対する現議員の意識の低さに驚いた。
- ・議員は私たち住民の代弁者として住民のいろんな意見または提案を重く受け止めてもらって市政へ反映してほしい。
- ・厳しい市財政の中、ビジョン等があっても実現が難しい活動で苦勞されていることでしょう。だからこそ、明るい展望に満ちた政策を立案してほしいです。そのためには、市民の声を聞く場をさらに作っていかれたらと思う。
- ・勉強され、市へどしどし意見を吸い上げてください。
- ・体を大切に、自分を大切に、規律ある議会であってほしい。
- ・特区提案を考えてください。
- ・行政施策をしっかりと検証してほしい。各議員は出身地区のことだけでなく市全体を見渡して審議をしてほしい。



(市政に対する要望等)

- ・旧福住小学校の維持、管理、開発の負担が大きすぎる。
- ・通学路、防犯灯の整備。黒岡川の美化。市内電柱の地中化。市内に公園がない。ウォーキング・サイクリングコースの整備。市内にベンチがない。
- ・市全体を考えてください、現状を見つめてください。
- ・小学校の跡地利用、移動手段の確保について協力いただきたい。
- ・積極的な市政運営を願う。
- ・三の丸広場を無料の駐車場に戻せないか。検討をお願いします。
- ・篠山市の財政は大丈夫でしょうか。水道料金は受益者負担に関わらず、せめて、兵庫県の平均あたりまで、財政負担すべきではないでしょうか。篠山市のまちづくりは、城周辺や篠山口駅に重点が置かれ、田園部は置いてきぼりの状態ではないか。
- ・小学校3年生くらいまで雲部～桜酒造～井上～小学校までのバス運行を希望いたします。
- ・人口減少は避けられない中、旅行客（宿泊客）の増加をいかに進めるかしか市の活性化は見込めないので、最重点課題としてほしい。カジュアル版丸山集落として、ぬくもりの郷に隣接するバンガローのような維持費のかからない宿泊施設の建設を。国から自立した市政運営ができるようにしてほしい。市民一人一人が自立して国や他人に頼ることなく、生活できることを目指してほしい。
- ・6・9月議会で市民トイレに関する要望があるが、篠山市を訪れる観光客は極端に増加している。ABCマラソンに始まり、さくら祭、デカンショ祭、味まつり、車いすマラソン。平日でも二階町通は車も通りにくい状況なほど観光客が多い。公衆用トイレは三の丸広場と河原町の2つしかない。早く対策を取ってほしい。
- ・農村女性への応援をよろしくをお願いします。
- ・各種市税の他に、各戸割の負担金が多すぎる。それぞれの団体について、減額なり廃止を希望する。各団体の運営なり会計のチェックをしっかりとすること。生活の苦しい家庭が増加する中で従来通りの各種負担金を自治会にお願いするのが無理な状況が生まれている。
- ・思い切った人口増対策を打ち出してほしい。
- ・篠山市全体の防災訓練はできないのか。
- ・最近の降雨量、降雨回数増を見据えた防災、水路、河川の基準の見直しと将来に繋がる防災への取り組みに注力願いたい。こどもへの投資には、将来を見据えた思い切った取り組みをお願いしたい。